

福島県家庭教育応援企業等推進活動報告書

企業名	菅野建設工業株式会社			
実施項目	* 取り組まれた活動に○を付けてください。			
	項目	実施に○	具体的な取組	
	職場の家庭教育推進			従業員に、家庭教育に関する資料等を配付した。
				従業員に家庭教育に関する学習会等を開催した。
				従業員に「家族の日」や「家庭の日」を普及・啓発し、家族の団欒の日として、職場の行事等への実施を控えるように努めた。
	生活習慣を向上させる取組			従業員の家庭において、子どもが早寝、早起きをし、親子で朝ごはんをとるように働きかけた。
				従業員の家庭において、子どもが早寝、早起きをし、親子でラジオ体操や運動を行うように働きかけた。
	学校行事への参加促進			従業員が参観日等の学校行事に参加することができるように働きかけた。
				従業員が休暇を取りやすい職場の雰囲気作りに努めた。
	職場見学・体験の実施			従業員の子どもの、親の働く姿を見せたり、親の仕事を体験させたりした。
		○		地域の子どもたちに、従業員が働く姿を見せたり仕事を体験させたりした。
	学校との協働活動			学校の環境整備活動に参加した。
				学校に出向き、子どもたちの学習（社会科・総合・学級活動等）に協力した。
			地域の子どもたちの放課後の居場所づくりや体験学習に協力した。	
地域行事への協力・支援			従業員が親子で参加できる行事やレクリエーションを実施した。	
			地域の親子が参加できる行事やレクリエーションを実施した。	
			企業等が取り組む社会貢献活動に従業員が家族ぐるみで参加した。	
			子どもが参加する地域の行事等に、企業等の施設を活動場所として提供した。	
その他（ご記入ください）			子どもが参加する地域の行事等に、従業員を指導者又は運営者等として派遣した。	
			[]	

具体的な取組状況

福島県建設業協会二本松支部所属企業10社により、地元の福島県立二本松工業高等学校都市システム科2年生23名の生徒を各企業で数名ずつ受け入れ、今回、当社では3名の生徒を受け入れました。当日は、土木現場2箇所に分かれて、朝のミーティング、測量作業などを体験させ、働くことの大切さを学んでもらいました。また午後からは当社施設「危険体感実技センター」にて、実際起こりうる危険をいくつか体感・体験してもらいました。当社では新技術を活用し、安全性の向上に力を入れていることから、実際に設備化できない危険については映像を利用し感覚的に体感できるVRを使っの疑似体験もしてもらいました。生徒達からは「貴重な体験ができて大変勉強になりました」と感想をいただきました。今後の学習、進路選択に役立てばと思っております。

※○を付けた取組について、具体的な内容が分かるように文章及び写真等を挿入し、記載してください。参加者の感想など、参考資料があれば添付してください。

令和4年9月6日

令和4年度 二本松工業高等学校インターンシップ

現場名：河川災害関連工事(護岸)移川筋



現場名：復興基盤総合整備 0301 工事 北移地区



施設名：危険体感実技センター

